

2か月に1回発行

第31号

R7年1月

認知症に関する情報紙

オレンジNガイド

～読んで・学んで・備えよう～



★過去に発行されたオレンジガイドは、伯耆町ホームページや、右側のQRコードからも見ることができます。



認知症の診断を受けた人の思い



認知症になるかもしれない全ての人へ、
認知症の診断を受けた今の私から、伝えたいことが3つあります。

	本人の言葉	解説
1. あらかじめ知っておいてほしいこと	診断を受けても 「働きたい気持ちや、やりたいことがまだまだ自分にはあります」 「できることを今のうちにしておきましょう」 「認知症の正しい知識を持ち早期に受診した方が良いです」 「家族とは終活や財産の話をしておきましょう」	診断の前と後で、急に人が変わるわけではありません。 それまでの生活や趣味なども、環境の工夫次第で継続できます。
2. 認知症のある私に声をかける時に気をつけてほしいこと	話す速度は「ゆっくりと」 話しかける雰囲気は「優しく」 話す声の大きさは「静かに」	言葉の情報量が多いと、かえって混乱しやすくなります。簡潔で丁寧に伝えることが大切になります。
3. 診断を受けた時の心構え	「考えすぎず、自分の可能性を信じましょう」 「人とは比べないでください」 「他の人に頼りましょう」	信頼できる人やサービスと少しでも早く出会えるよう行動を。

出典:「認知症の人と家族の思いをより深く知りたいあなたへ」、公益社団法人 認知症の人と家族の会

お知らせ R6年度スタートした制度をご活用ください！

■アルツハイマー病治療費(新薬)の補助

対象者 アルツハイマー病治療薬(新薬)の治療を開始する人

対象経費

治療の開始前、治療中の検査費用
や治療に係る費用
一人当たり上限40万円



■ICTを活用した見守り機器の補助(初期経費)

対象者 認知症等の認知機能低下があり、見守りが必要な人

対象経費

GPS発信機、紛失防止タグ等、持ち歩くことの出来る機器の購入経費
一人当たり上限2万円



※どちらも**事前申請が必要**です。詳細は下記へお問い合わせいただくか、
町ホームページ<https://www.houki-town.jp/new1/10/8/v813/g127/>をご覧ください。

認知症や高齢者に関する相談窓口

伯耆地域包括支援センター

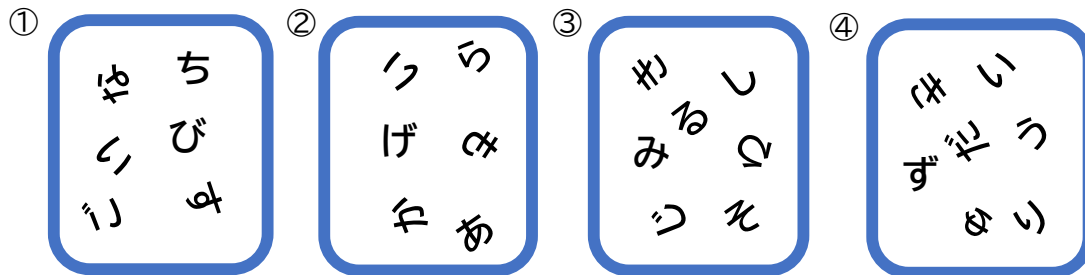
場 所： 伯耆町役場 健康対策課 生活相談室内

電 話： 0859-68-4632

<https://www.houki-town.jp/new1/10/8/>

(※認知症予防とは、認知症になるのを遅らせる、なっても進行を緩やかにすることです。)

第1問 次の口の中から、単語を2つ見つけましょう【視空間認知課題】



第2問 できるだけ長いことばを考えましょう【思考力課題】

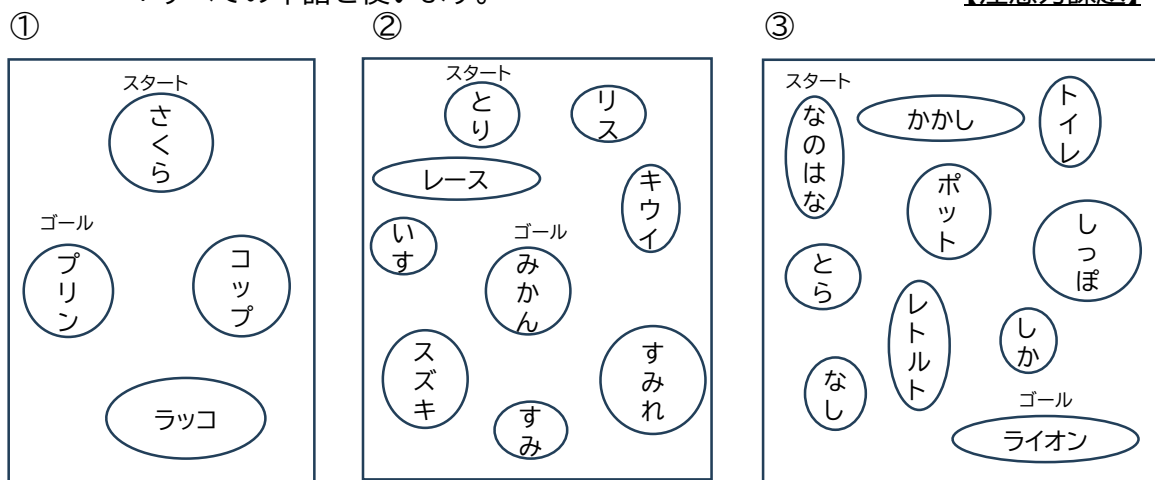
例:「ほ」で始まって「う」で終わることば 答え:伯耆町、ほうれん草など

- ① 「と」で始まって「ん」で終わることば
- ② 「お」で始まって「い」で終わることば
- ③ 「き」で始まって「ん」で終わることば

制限時間を決めて
難易度up!



第3問 スタートの単語からゴールの単語まで、しりとりをしながら線でつなぎましょう
*すべての単語を使います。【注意力課題】



答え

第1問 ①なすび・いちご ②いも・からあげ ③みそしる・ひじき ④きゅうり・だいず

第2問 ①都道府県、東京マラソン、鳥取県立博物館など
②大食い、音楽祭、大谷翔平、大盤振る舞いなど
③紀元前、記念写真、謹賀新年、近代美術館など

第3問 ①さくら→コップ→プリン
②とり→レース→みかん→すみれ→すみ→みかん→ゴール
③なのはな→トイレット→かかし→ポット→しっぽ→しか→ライオン→ゴール